

朝宮公園整備基本計画

平成29年11月

春日井市

目次

序章	はじめに	1
第1章	現況把握	2
1-1	前提条件の整理	2
1-2	社会・人文・自然条件の概況整理	8
1-3	需要圏域・利用者層の検討と設定	20
1-4	計画地の地形・隣接河川等の敷地条件における分析評価	22
第2章	課題の抽出	23
第3章	計画内容の検討及び方針設定	24
3-1	基本方針の設定	24
3-2	導入施設の設定	26
3-3	アクセスや動線の検討	49
3-4	防災機能の検討	53
3-5	環境保全やユニバーサルデザインへの対応検討	57
3-6	近隣公共施設との連携の検討	59
3-7	維持管理方法の検討と設定	61
3-8	法制度及び財政面の整理	63
第4章	基本計画図	65
第5章	整備スケジュール	67

序章 はじめに

朝宮公園は、スポーツを楽しむ場、健康づくりの場、憩いの場、子どもたちの遊び場として、市民の皆様に広く親しまれています。

本市では、平成29年2月に朝宮公園整備構想（以下「構想」という。）を策定し、愛知県から朝宮公園の移管を受け、多目的総合運動広場の新たな整備を始め、公園全体の魅力をさらに高めるため、再整備することとしました。

この基本計画は、構想に基づく朝宮公園の整備について、基本的な考え方を示すものです。

第1章 現況把握

1-1 前提条件の整理

1-1-1 朝宮公園整備構想

本市では朝宮公園について、豊かな自然環境を保全しつつ、市民の皆様のスポーツや健康づくり、外遊びの場としての機能をより一層充実させるため、平成29年2月に構想を策定し、基本理念、整備の視点、施設の配置イメージを示しました。

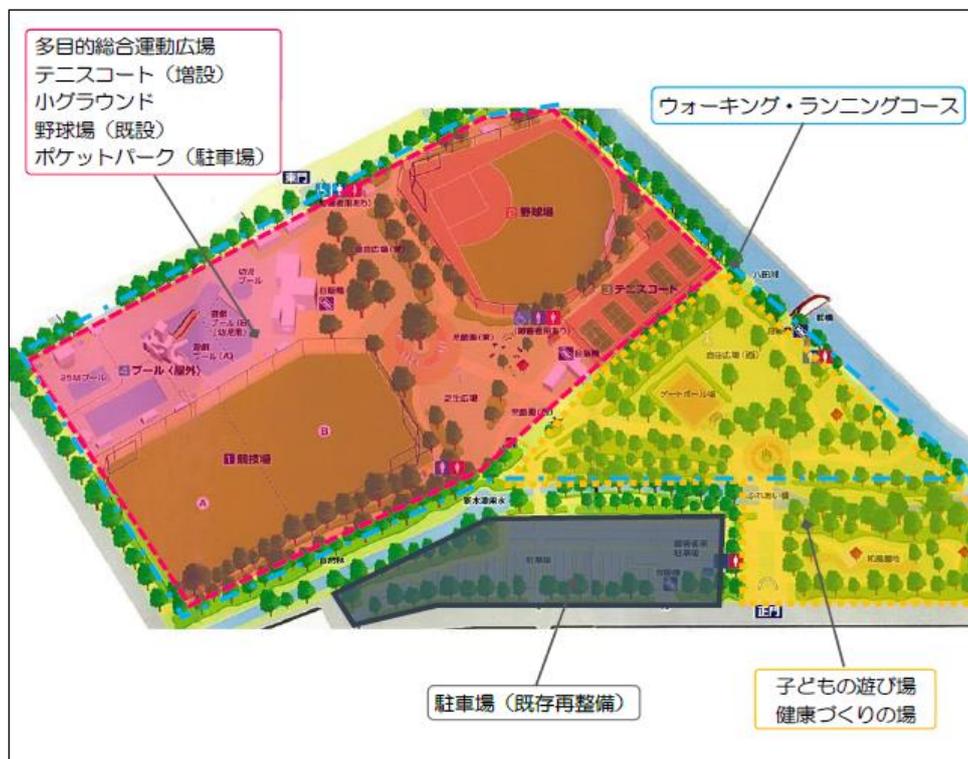
基本理念

スポーツを楽しみ、自然を感じ、身体もこころも健やかになる 朝宮公園

整備の視点

- (1) スポーツを楽しみ、健康づくりができる公園整備
- (2) 自然と触れ合うことができる公園整備
- (3) 周辺環境に配慮した公園整備
- (4) 災害時に活用できる公園整備
- (5) 維持管理コストを抑制し、地域経済の活性化に寄与する公園整備

施設の配置イメージ



1-1-2 上位計画等との関連性

朝宮公園整備基本計画は、次の計画等と関連しています。

計画等名称(策定年次)	関連性
第五次春日井市総合計画基本計画 (H25.3)	基本施策25 スポーツを楽しむ環境を整える (4) スポーツ施設の効率的利用と整備充実 ② 多目的総合運動広場の整備について調査研究し、市民が安全で気軽にスポーツを楽しめる環境の充実を図ります。
文化・スポーツ都市宣言(H29.3.14)	文化やスポーツは、心豊かな生活や生きがいづくり、健康づくりに必要なものであるとともに、地域に対する愛着や誇りを育て、地域コミュニティの醸成に大きな役割を果たします。 (中略) 1 私たちはスポーツに親しみ、健やかな心と体をつくります
春日井市スポーツ振興基本方針 (H26.3)	Ⅱ 基本方針 3 スポーツ施設の整備充実 【取組の方向】 ○競技スポーツの普及のため、様々な種目に対応できる、多目的総合運動広場の整備について調査研究を進めます。
健康都市宣言(H2.2.27)	健康はひとつの財産であり、幸せの原点であります。心身ともに健康であることは、市民共通の強い願いであり、いきいきとした活力のあるまちづくりのうえで最も大切なことでもあります。 私たち春日井市民は、一人ひとりが健康の輪を広げ、健康で明るく活力ある都市・春日井を築くため、ここに「健康都市」を宣言します。 1 スポーツやレクリエーションを通じて、健全なところとからだをつくりましょう 1 市民一人ひとりが調和のとれた健康で明るい家庭をつくりましょう 1 健康づくり・体力づくりを地域にひろめ、健康で明るいまちをつくりましょう
かすがい健康計画2023(H26.3)	施策1 健康的な生活習慣による疾病予防(一次予防) (2)身体活動・運動 重点目標:日常生活における身体活動・運動の機会の増加
春日井市都市景観基本計画(H7.7)	ゾーン別基本計画 Fゾーン 田園・住宅・歴史的要素が調和したのどかな住宅地景観の中に小規模ながらも商業・工業機能を持つゾーン 方針 ○田園と住宅が調和したのどかな景観を形成する。 ○緑と水辺を生かす。 ○ゆとりと落ちつきのある住宅地をつくる。 ○歴史の趣が生きる風景を演出する。

計画等名称(策定年次)	関連性								
春日井市都市計画マスタープラン (H22.3)	<p>4 分野別のまちづくり方針</p> <p>(4) 公園・緑地</p> <p>●施策の方針</p> <p>(1) 公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の多様なレクリエーション需要に対応した朝宮公園や落合公園などの大規模な都市公園を、緑の拠点として位置づけます。 ・ 市民のスポーツ振興と健康増進を図るため、多目的総合運動広場について調査・検討を行います。 <p>(6) 都市防災・防犯</p> <p>●基本的な考え方</p> <p>地震・火災などの災害に強く、高齢者や障がい者を始め、すべての市民が安心して生活できるまちづくりを行います。そのため、防災の視点から土地利用や道路、公園、河川などの都市基盤施設などの計画を検討し、防災機能の向上を目指した取組みを進めます。</p>								
春日井市環境基本計画(H26.3改定)	<p>【環境像】</p> <p>みろくの森から道風の里まで 蛙の合唱消えぬ道 暮らしと出合いを大切にするまち</p> <table border="1" data-bbox="692 1070 1422 1261"> <thead> <tr> <th data-bbox="692 1070 954 1104">取組みの目標</th> <th data-bbox="954 1070 1422 1104">基本的施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="692 1104 954 1261" rowspan="3">緑豊かなまち</td> <td data-bbox="954 1104 1422 1144">(11)緑化の推進</td> </tr> <tr> <td data-bbox="954 1144 1422 1184">(12)公園・緑地・親水空間の整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="954 1184 1422 1261">(13)市民による公園などの維持管理の促進</td> </tr> </tbody> </table>	取組みの目標	基本的施策	緑豊かなまち	(11)緑化の推進	(12)公園・緑地・親水空間の整備	(13)市民による公園などの維持管理の促進		
取組みの目標	基本的施策								
緑豊かなまち	(11)緑化の推進								
	(12)公園・緑地・親水空間の整備								
	(13)市民による公園などの維持管理の促進								
春日井市地域防災計画(H28.10)	<p>朝宮公園を市の8か所の広域避難場所の中の1つに指定。</p> <table border="1" data-bbox="692 1317 1342 1395"> <thead> <tr> <th data-bbox="692 1317 852 1350">施設名</th> <th data-bbox="852 1317 1054 1350">収容可能人員</th> <th data-bbox="1054 1317 1198 1350">地震</th> <th data-bbox="1198 1317 1342 1350">風水害</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="692 1350 852 1395">朝宮公園</td> <td data-bbox="852 1350 1054 1395">52,200人</td> <td data-bbox="1054 1350 1198 1395">○</td> <td data-bbox="1198 1350 1342 1395">○</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	収容可能人員	地震	風水害	朝宮公園	52,200人	○	○
施設名	収容可能人員	地震	風水害						
朝宮公園	52,200人	○	○						

1-1-3 現在の朝宮公園の概要

(1) 公園概要

- ・所在地
春日井市朝宮町
- ・都市計画決定面積
13.8ha
- ・供用面積
12.5ha
(未供用区域は新木津用水)
- ・公園種別
都市公園(運動公園)



(2) 沿革

朝宮公園は、昭和49年度から進められた春日井都市計画事業朝宮土地区画整理事業の整備に合わせて、愛知県が国庫補助事業により用地取得を行い、昭和51年度から整備されています。昭和53年7月には、プールを含む約1haを県営公園として供用開始し、その後、順次整備が行われ、昭和61年4月には現在の12.5haの朝宮公園の形として開園しています。そして、平成29年4月に愛知県との間において、土地の無償貸与及び施設の無償譲渡の契約を締結し、本市に移管されました。

表 沿革一覧

昭和53年7月1日	幼児用プール・遊戯用プールを含む1.06haを供用開始
昭和54年7月1日	50m・25mプールを追加供用
昭和55年4月1日	野球場及びテニスコートを供用
昭和58年8月1日	競技場を供用
昭和59年8月17日	駐車場(254台収容)を供用
昭和60年7月1日	自由広場の一部を供用
昭和61年4月1日	自由広場を供用
昭和61年4月1日	芝生広場、和風園地を供用
平成29年4月1日	愛知県から春日井市に移管

(3) 施設

① 施設の種類

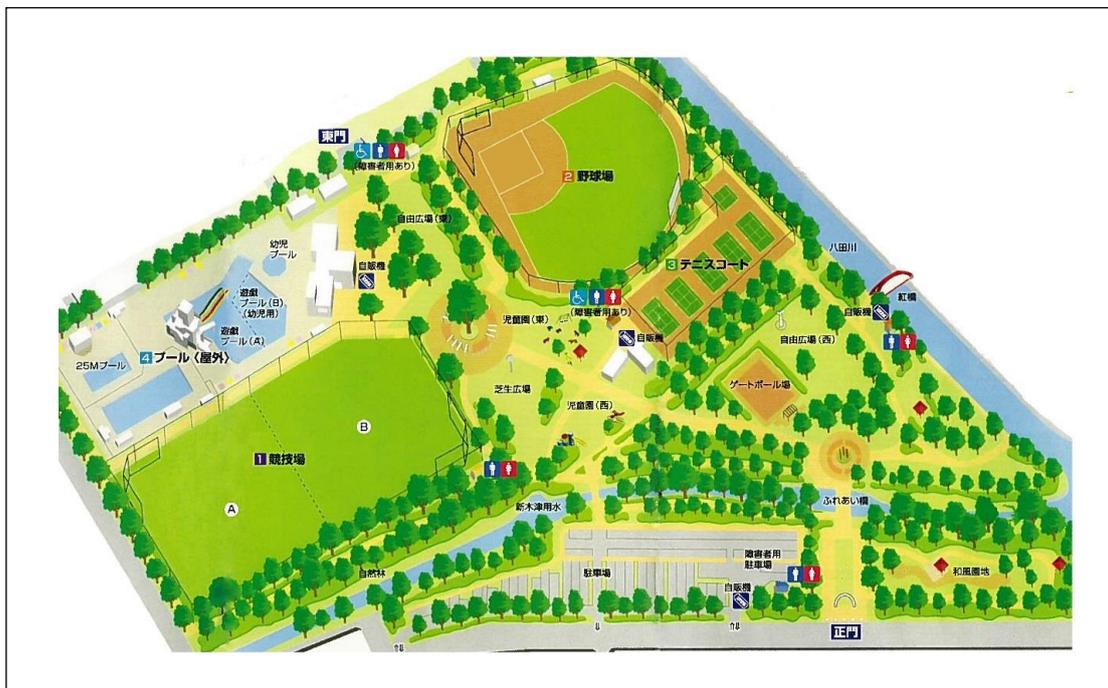
現在の朝宮公園の施設の種類は、次のとおりです。

表 施設の種類

施設の種類		性能	供用開始
1	競技場	18,205 m ² 全面天然芝	S58.8.1
2	野球場	1面、12,098 m ² 内野:黒土舗装 外野:芝生舗装 センター115m 両翼91m 観客席200人	S55.4.1
3	テニスコート	ハードコート5面、全天候型、4,300 m ²	S55.4.1
4	プール(供用停止)	50m、25m、スライダー、水面積3,804 m ²	S53.7.1
5	自由広場	12,697.945 m ²	S61.4.1
6	和風園地	6,606.367 m ²	S61.4.1
7	駐車場	10,828.7 m ² 乗用車249台(うち障がい者用5台)、 大型車3台	S59.8.17

② 施設配置

現在の朝宮公園の施設配置は、次のとおりです。



■朝宮公園の施設配置図

③ スポーツ施設の使用料

現在の朝宮公園のスポーツ施設の使用料は、次のとおりです。

表 スポーツ施設の使用料

	面数	利用時間	主な利用	利用区分	金額	
競技場	1面	7:00～19:00	サッカー 軟式野球 運動会等	全面利用	2時間まで	1,600円
					4時間まで	3,200円
					8時間まで	4,800円
					10時間まで	6,400円
					12時間まで	8,000円
				1/2利用	2時間まで	1,200円
					4時間まで	2,400円
					8時間まで	3,600円
					10時間まで	4,800円
					12時間まで	6,000円
野球場	1面	7:00～19:00	軟式野球 ソフトボール	1面につき	2時間まで	1,600円
					4時間まで	3,200円
					8時間まで	4,800円
					10時間まで	6,400円
					12時間まで	8,000円
テニスコート	5面	9:00～19:00 ただし、10月1日～3月31日 までは9:00～17:00	硬式テニス 軟式テニス	1面につき	1時間につき	300円

④ スポーツ施設の稼働率

現在の朝宮公園のスポーツ施設の稼働率は、次のとおりです。

表 スポーツ施設の稼働率（％）

施設名	平成29年4月		平成29年5月		平成29年6月	
	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝
競技場	16.1	56.7	21.7	33.3	18.5	63.5
野球場	29.8	50.0	38.9	48.5	25.0	75.0
テニスコート	19.5	74.6	17.3	86.4	16.0	90.3

⑤ 大会開催状況

現在の朝宮公園での大会開催状況は、次のとおりです。

表 朝宮公園での大会開催状況

大会名	種目	開催時期	参加者数(人)
中学校体育大会	軟式野球	7月	約220
中学校新人戦	軟式野球	10月	約200
ジュニア選手権大会	サッカー	11月	約200

1-2 社会・人文・自然条件の概況整理

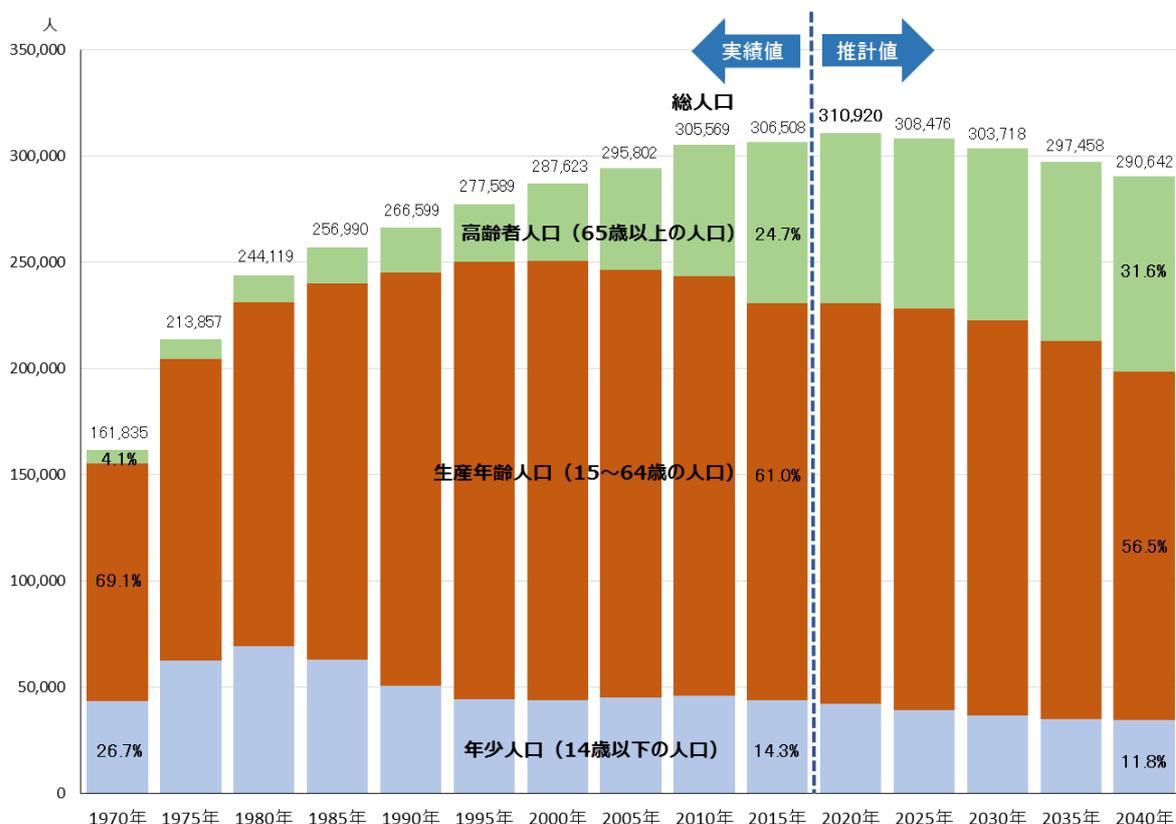
1-2-1 社会条件

(1) 人口

本市の人口は、1970年代に急激に増加しています。これは、高度経済成長期における名古屋市の人口増加を背景とした高蔵寺ニュータウンを始めとする大規模な住宅開発や区画整理があったことが要因として考えられます。

また、1980（昭和55）年以降は、人口増加の伸びは緩やかになったものの、現在に至るまで継続して人口が増加している状況です。

2015（平成27）年から2020年には、沖縄県を除く46都道府県で人口が減少する見込みとなっており、本市の場合は、2020年まで増加する見込みです。その後は、緩やかに人口が減少し、2040年には2015（平成27）年に比べ約5%減少し、約29万人となる推計がされています。

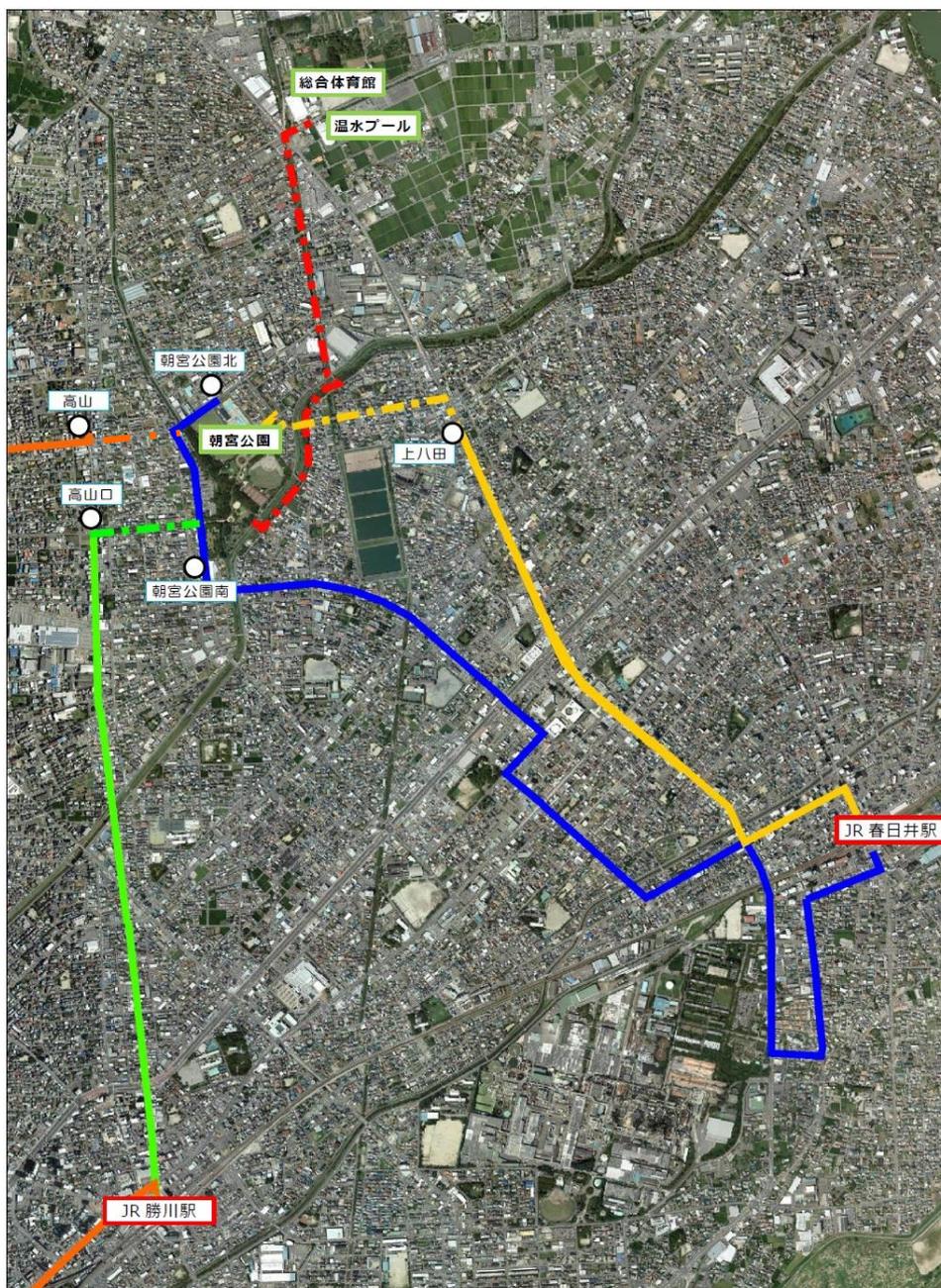


■年齢3区分別人口の推移と推計（出典：国勢調査、社人研）

(2) 交通

朝宮公園への主要なアクセス道路は、自動車では東名高速道路春日井IC又は名二環勝川ICから国道19号を經由して約10分となります。

また、公共交通機関では、名鉄バス「上八田」又は「高山口」停留所、かすがいシティバス「朝宮公園北」、「朝宮公園南」、「高山」又は「上八田」停留所での下車となります。



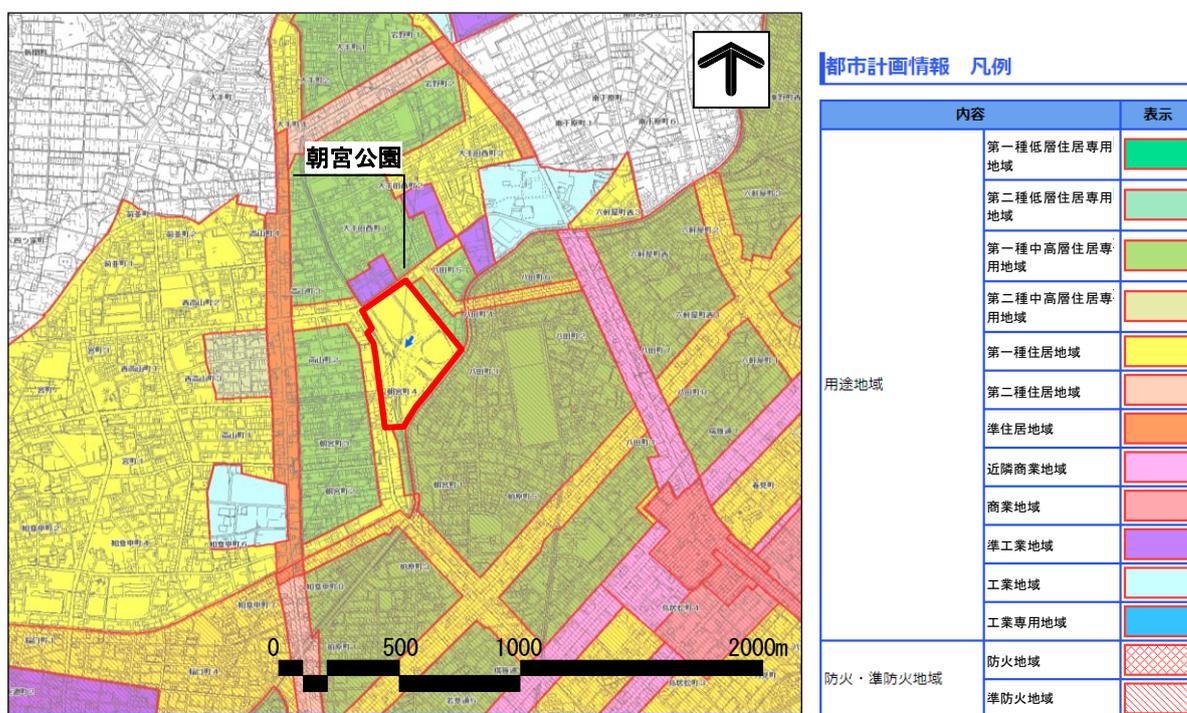
(3) 土地利用

朝宮公園周辺の土地利用は、そのほとんどが住宅地として、また公園の外周を流れる八田川や新木津用水の水面・河川・水路として利用されています。

(4) 法規制

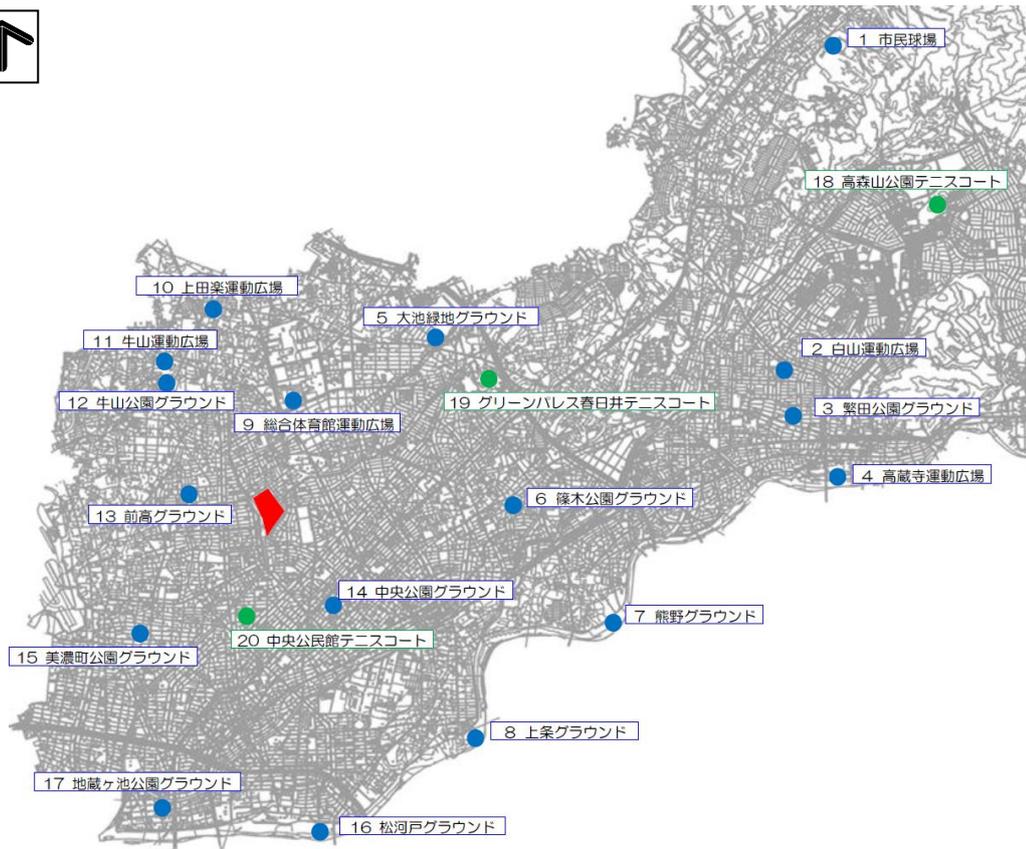
朝宮公園は、市街化区域内に位置しており、用途地域は、第一種住居地域に指定されています。また、公園周辺は、第一種中高層住居専用地域や準工業地域として指定されています。

防火・準防火地域については、朝宮公園の南東の敷地境界までは準防火地域として指定されていますが、朝宮公園以西は指定されていません。



■朝宮公園周辺の用途地域図及び防火・準防火地域図

(5) 屋外スポーツ施設



■春日井市内の屋外スポーツ施設の設置状況

表 春日井市内の屋外スポーツ施設一覧

No.	名称	面積 (㎡)	主な利用形態	稼働率(%)	
				平日	土日
1	市民球場	38,104	硬式野球・軟式野球	18.7	78.4
2	白山運動広場	19,590	軟式野球・ソフトボール	9.8	81.3
③	繁田公園グラウンド	10,560	軟式野球・ソフトボール	43.9	80.2
4	高蔵寺運動広場	10,408	軟式野球・ソフトボール	4.9	50.1
5	大池緑地グラウンド	10,600	軟式野球・ソフトボール、サッカー	47.7	98.3
6	篠木公園グラウンド	10,826	軟式野球・ソフトボール	29.8	87.4
7	熊野グラウンド	31,102	軟式野球・ソフトボール	2.6	87.0
8	上条グラウンド	28,341	軟式野球・ソフトボール	5.5	83.0
9	総合体育館運動広場	14,997	陸上、サッカー、グラウンドゴルフ		49.8
10	上田楽運動広場	19,323	軟式野球・ソフトボール	7.2	88.6
11	牛山運動広場	22,729	ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ	16.1	98.4
12	牛山公園グラウンド	18,274	ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ	34.0	92.2
13	前高グラウンド	19,888	ソフトボール、サッカー	27.7	97.0
⑭	中央公園グラウンド	10,380	軟式野球・ソフトボール	41.2	90.9
15	美濃町公園グラウンド	6,500	軟式野球・ソフトボール	24.3	94.0
16	松河戸グラウンド	46,156	軟式野球	1.1	94.2
17	地蔵ヶ池公園グラウンド	5,916	軟式野球・ソフトボール	3.7	53.3
18	高森山公園テニスコート		4面	49.1	87.2
⑲	グリーンパレス春日井(勤労福祉会館)テニスコート		2面	69.8	93.2
⑳	中央公民館テニスコート		8面	39.5	73.3

※No.が○数字の施設は、夜間照明設備完備(有料)

※面積には、グラウンドの周辺敷地及び緑地を含む。

※稼働率はH28年度実績

1-2-2 人文条件

(1) 春日井都市計画事業朝宮土地区画整理事業

朝宮公園は、昭和49年度から進められた春日井都市計画事業朝宮土地区画整理事業の整備に合わせて、愛知県が国庫補助事業により用地取得を行い、昭和51年度から整備されています。昭和53年7月には、プールを含む約1haを県営公園として供用開始し、その後、順次整備が行われ、昭和61年4月には現在の12.5haの朝宮公園の形として開園しています。

(2) 行事

朝宮公園で開催されている主な行事は次のとおりです。また、毎朝、午前6時30分から周辺住民によるラジオ体操が行われています。

表 朝宮公園の主な行事一覧（平成28年度実績）

行事名	時期	参加者数(人)
アースデーin朝宮	4月	1,000
はちみつ搾り体験	6月	48
移動動物園	10月	1,000
クリスマスリース作り	12月	65
ミニかどまつ作り	12月	118

また、本市で開催されている主な行事は次のとおりです。

表 春日井市の主な行事一覧（平成28年度実績）

行事名	時期	開催場所	参加者数(人)
緑と花のフェスティバル	4～5月	野外教育センター	32,500
わいわいカーニバル	5月	落合公園、ふれあい緑道など	59,000
春日井市民納涼まつり	7月	落合公園	177,000
春日井まつり	10月	春日井市役所庁舎及びその周辺	242,800
ハニワまつり	10月	二子山公園	9,600

(3) スポーツ大会等

本市で開催されている主なスポーツ大会等は、次のとおりです。

表 春日井市の主なスポーツ大会等一覧（平成28年度実績）

大会等名	種目	時期	開催場所	参加者数 (人)
市民体育大会	軟式野球	3～5月	市民球場他	1,950
	サッカー	4～2月	総合体育館運動広場他	1,300
	スポーツ少年団野球	4月	市民球場他	200
	陸上	5月	総合体育館運動広場	20
	グラウンドゴルフ	6月	総合体育館運動広場	335
	硬式庭球	6～7月	中央公民館テニスコート	46
	ソフトボール	6～7月	上条グラウンド	435
	スポーツ少年団サッカー	6～7月	小学校グラウンド	100
	ゲートボール	7月	総合体育館運動広場	56
	ソフトテニス	9月	中央公民館テニスコート	186
	ラグビー	1月	大池緑地グラウンド	121
小学校体育大会	陸上	7月	小学校グラウンド	1,100
中学校体育大会	陸上	7月	中学校グラウンド	300
	軟式野球	7月	朝宮公園野球場他	220
	ソフトテニス	7月	中央公民館テニスコート	400
	サッカー	7月	中学校グラウンド	280
高校生スポーツ大会	陸上	7月	高校グラウンド他	230
	サッカー	7月	高校グラウンド	480
新春春日井マラソン大会	マラソン	1月	総合体育館	8,565
親子で楽しむ！スポーツ教室	かけっこ等	4月	総合体育館	151
ホームゲームフェスタinかすがい	サッカー、ラグビー等	5月	総合体育館	245
みんなでラジオ体操会	ラジオ体操	8月	落合公園他	1,500
かすがい！スポーツフェスティバル	サッカー、軟式野球等	10月	総合体育館他	7,076

(4) 愛日地区陸上競技大会

愛日地区陸上競技大会（愛知県中学校総合体育大会陸上競技大会東尾張支部愛日地区大会）は、本市が所属する愛日地区（瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、東郷町、豊山町）を対象に行われているスポーツ競技大会です。この地区には陸上競技場が整備されていないため、陸上競技は地区外である知多運動公園陸上競技場などを会場にして開催している状況です。

表 愛日地区陸上競技大会の概要

開催時期	毎年7月中旬		
開催会場	知多運動公園陸上競技場など		
選手数	約700人	約800人	来場者総数 約1500人
関係者数	約100人		
応援者数	種目ごとに変動	約700人	
種目	<p>【男子の部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年100m、1500m ・2年100m、1500m ・3年100m、1500m ・低学年4×100mリレー ・全学年共通 200m、400m、800m、3000m、110mハードル、4×100mリレー、走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投（5kg） <p>【女子の部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年100m、800m ・2年100m ・3年100m ・低学年4×100mリレー ・全学年共通 200m、800m、1500m、100mハードル、4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投（2.7kg） 		



■ 愛日地区陸上競技大会の様子(知多運動公園陸上競技場)

(5) ボランティア活動

朝宮公園内で活動している主なボランティア活動団体は、次のとおりです。公園内の落葉などの清掃や花壇の花植えを行っています。

表 朝宮公園のボランティアの状況

団体名	参加者数(人)	回数	内容
公園周辺住民ボランティア	約10	2回/月 ※第2、第4金曜日: 作業時間約2時間/回	・落葉清掃 ・花壇の花植えなど
ひのきしん(天理教青年部) ボランティア	約15	1回/月 ※作業時間約3時間/回	・落葉清掃など
東濃信用金庫・岐阜信用金 庫ボランティア	約30	1回/年 ※作業時間約1時間/回	・清掃

1-2-3 自然条件

(1) 気象

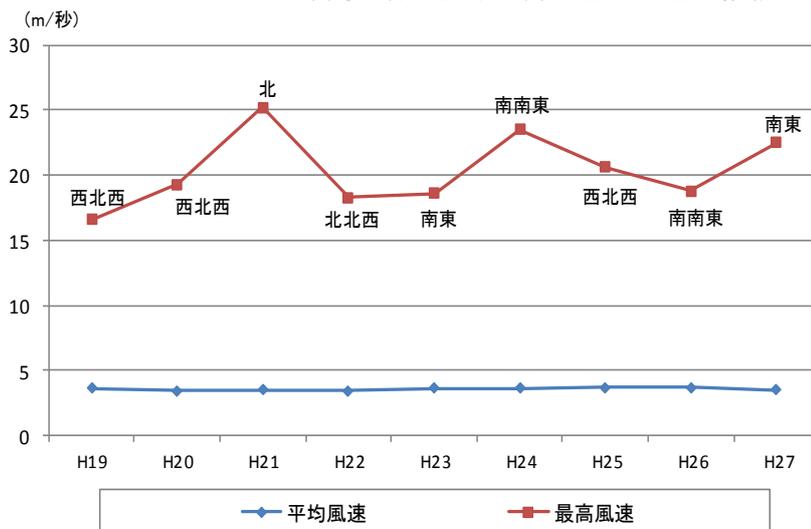
本市の気候は一般に温暖で、過去9年間の降雨量及び平均気温は、降雨量が1,392mm、平均気温が16.4℃となっています。過去9年間の降雨量は年ごとにばらつきがあるものの、平均気温は概ね横ばいです。ただし、過去9年間の最高気温の平均は38℃程度あり、今後とも夏季には酷暑日が続くと考えられています。

また、平均風速は過去9年間で大きな変化はなく、風速3.6m/秒となっています。最大風速及び最高風速時の風向は、年によってばらつきがあり、最大で平成21年度に風速約25m/秒を観測しています。



※春日井市消防本部の観測データより作成

■過去9年間の春日井市の降雨量と気温の推移



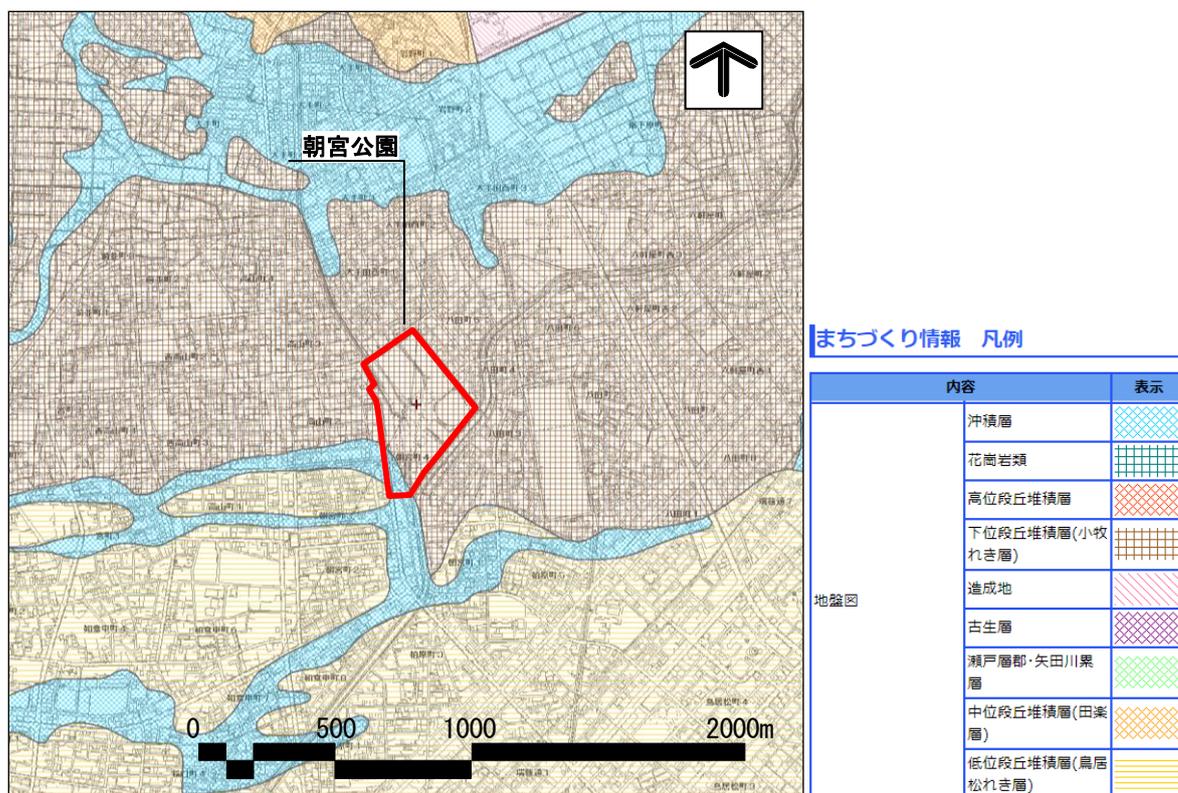
※最高風速時の風向は名古屋市のデータを用いている。平均風向のデータは計測していない。

■過去9年間の春日井市の風速と風向

(2) 地形・地質

朝宮公園周辺における地形の起伏は少なく、濃尾平野の概ね平坦な地形となっています。朝宮公園の敷地内では若干の高低差があり、西側の正門が標高約24m、東側の野球場が標高約28mと東西で4m程度の高低差があります。

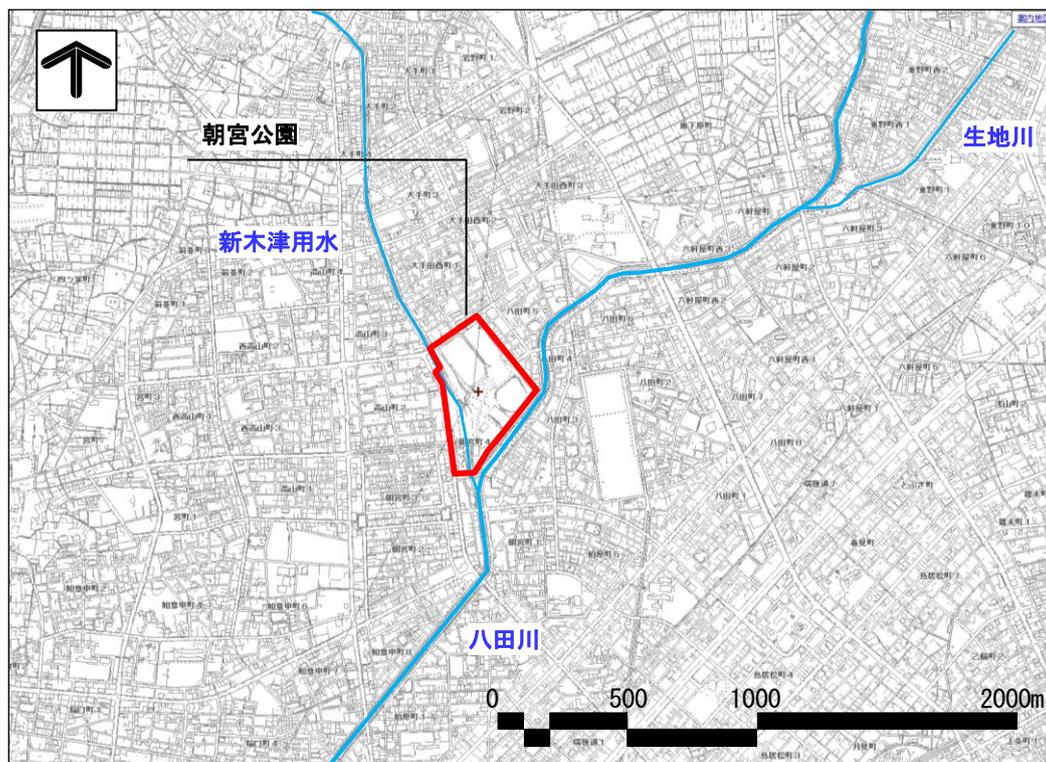
また、朝宮公園の地質は、大半が小牧れき層であり、れき種は花崗岩や濃飛流紋岩類を主とし、中・古生界の砂岩・頁岩（けつがん）のれきも混合している状況です。なお、層の構成年数は、約3万年前と推測されています。



■朝宮公園周辺の地質分布図

(3) 水系

朝宮公園周辺は、東西に八田川と新木津用水が流れています。新木津用水は、朝宮公園の南端で八田川に合流しています。



■朝宮公園周辺の河川・水路の分布状況

(4) 植生

本市の原植生は、暖帯林の照葉樹林帯に属し、ヤブツバキ・シイ・カシ・クスノキ・アオキ・ヒサカキなどの常緑広葉樹を主な組成種とする植生域と考えられますが、長い歴史の中での森林の伐採などの人為的影響を受け、山地においてもアカマツ林（アカマツ－モチツツジ群集）・コナラ林（コナラ－クリ群集）植林（スギ・ヒノキ・クロマツ群落）などの代償植生となっています。

自然植生に近い常緑広葉樹林は、わずかに社寺林や古い屋敷林、山地の一部に面影が残っています。

朝宮公園や八田川・生地川の左岸沿いに落合公園へとつながるふれあい緑道では、緑豊かな自然環境が形成されています。ただし、これらの植生は、公園や緑道を整備する際に公園植栽として新植された樹種が大半であり、昭和の時代に創出された比較的新しい植生であると推測されます。